

6月14日(木) 牛乳消費拡大キャンペーン

熊本酪農協同組合の藤江俊之菊池支所長、同組合の松岡幸代菊池支所女性部長、JA 菊池酪農女性部の石井小夜子旭志女性部長、永松清美泗水女性部長、古閑早苗七城女性部長の5人が菊池市役所を訪れました。「菊池市のお父さんである市長さんたちに、牛乳をどうぞ」と瓶詰め牛乳(900ml)をプレゼントし、福村市長からは「ありがとうございます。らくのう情勢は、現在厳しい状況にありますが、地域がひとつとなって牛乳の消費が伸びるよう、行政としても応援していきます」とお礼が述べられました。

これは、平成9年から牛乳の消費拡大にと「6月の父(ちち)の日」に牛乳(ちち)を」と進められているもので、菊池地域で始まったものが九州全域から全国へと拡大しています。

訪れた5人は「最近のらくのうは厳しい状況にあります。これが父の日のプレゼントの定番商品になり、牛乳消費の落ち込みの解消になればと思います。そして、この活動が菊池地域のPRになることを期待します」と活動に取り組む抱負を話されました。



市役所を訪れたメンバーたち

6月21日(木)・28日(木)アジア・アフリカ支援米の田植え

隈府小学校(高村秀夫校長)と花房小学校(福田哲朗校長)の児童たちが「アジア・アフリカの飢餓で苦しんでいる人たちに少しでも手が差し延べられたら」と、支援米を送るための田植えをそれぞれ行いました。

「食とみどり、水を守る菊池の会(村上活芳会長)」が毎年続けているもので、21日には隈府小学校の5年生児童113人が、学校近くの約10アールの水田に水着やTシャツ姿になって入り、稲の苗を一つ一つ丁寧に植えました。

事前学習で「いつもたくさん給食が食べられる影では、お腹をすかせて苦しんでいる人がいる」ということを学んだ児童たちは、「飢餓で苦しんでいる人たちのことを思いながら一生懸命に植えました。そして食べ物を粗末にせず今日の給食も残さず食べます」と話してくれました。



学校近くの水田で支援米の田植えをする隈府小学校の児童たち

守ろう地域環境!市民とともに!みんなの力で!

本年度より地域環境の良好な保全と地域振興などを目的に「農地・水・環境保全向上対策事業」がスタートしました。

この事業は、集落とその周辺農地などの資源を地域住民が一体となって環境保全活動に取り組むことで、国、県、市が交付金で支援するものです。

菊池市では、79組織が設立され、草刈や水路の泥上げ作業のほか施設の長寿命化を目的とした補修作業、環境保全に関する啓発活動、景観形成のための花の植栽など積極的に取り組んでいます。

各活動組織で、環境保全活動などの取り組みが行われますので、市民の皆さんもこの活動へのご協力をお願いします。



環境保全啓発看板を制作した七城田中活動組織(野中久信代表)の皆さん

5月30日(水) フェニックス・テクノと進出協定を調印

半導体製造装置関連部品の設計・製造メーカー、有限会社フェニックス・テクノ(有馬和重代表取締役)が、泗水町永へ進出することが決定し、県立会いのもと、企業進出協定の調印式が行われました。

熊本県庁であった調印式には、有馬代表取締役、村上副市長、島田商工観光労働部長などが出席して協定書への署名が行われ、有馬代表取締役は「市の活性化に協力したい」と今後の抱負を述べられました。

同社は大阪府富田林市に本社を置き、平成11年10月の設立以来、半導体産業の一端を担い、コンピュータを使った三次元設計システムで最先端の設計技術を駆使した製品開発を行っています。今回、取引先企業の熊本への進出に伴い熊本事業部熊本工場として進出され、本年10月の操業開始を予定されています。



調印後に手を取り合う4人。左から村上副市長、島田商工観光労働部長、有馬代表取締役、川野氏

6月10日(日)第30回熊本県小学生選抜相撲大会で優勝

熊本県小学生選抜相撲大会が県民総合運動公園でありました。菊池市から七城小学校と菊池小学校の4年生が合同で出場し、まわし姿もりりしく、自分より大きい選手を相手に果敢に挑み、団体戦低学年の部で見事優勝しました。また、個人の部でも、七城小学校4年の松本敦弥くんが健闘し、準優勝に輝きました。

保護者や指導の先生たちは「大きい選手にもひるまず向かっていく子どもたちに感動しました。今後も頑張りますので市民の皆さんの応援をよろしくお願いいたします」と話されました。結果は次のとおりです。(敬称略)

低学年の部(団体戦) 優勝 松本敦弥(七城小4年)、松田祥太郎(同)、野中大輝(同)、古閑健志郎(同)、原田拓郎(菊池小4年)、原田篤郎(同)
低学年個人の部 準優勝 松本敦弥(七城小4年)



左から原田拓郎くん、松田くん、原田篤郎くん、松本くん、野中くん、古閑くん

しすい女性の会だより① 「楽しく!ためになる!元気がでる!」を テーマに研修会

しすい女性の会では「魅力あふれる女性の会」を目指し、今年度は「楽しく!ためになる!元気がでる!」をテーマに4回の研修会を計画して実施しています。

1回目を5月26日(土)に、茶道家の山口典子さんを講師に迎えて行いました。会員たちは「茶道をとおしての出会い、ふれあい」と題した講演の後、実際にお茶の点て方や飲み方の指導を受け、日頃の慌しさを忘れてしばし茶道の世界に浸りました。

2回目を6月10日(日)に、アスレチックトレーナーの永田美香さんを迎えて「身体改善スタートアップ・セミナー」を行いました。腰痛、膝痛、メタボリック症候群の改善法について、実技も交えた講習に汗だくになりながら、「自分の身体と会話すること」を学びました。当日は、会員の他にも男性、むつみ会、一般の方も含めて56人の参加があり大変好評でした。

今後も、地域の方たちも取り込んだ学習会を進め、女性の会に対する地域の理解を深め、会員自身も楽しみながら、地域に根ざした活動を目指したいと思います。



1回目の茶道研修会(上)と2回目身体改善スタートアップセミナー(下)

